

コロナ失業 無償で住居

不動産会社

貸主の協力で提供

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で解雇や雇い止めをされる労働者が急増する中、住まいや寮の退去を迫られた人に対し、不動産会社などが部屋を無償提供する動きが相次いでいる。申し込みから2日後には入居が決まったケースもあり、行き場を失っていた人は感謝の声を上げる。

(浦上太介)

希望する都道府県、市区町村を続けてクリックする。産総合サービスの「APAMAN(アパマン)」(東京)は、倒産や人員整理で寮の退去を余儀なくされた



▲ 無償提供された部屋に入居した男性(14日、福岡市博多区で)

人のために、福岡など24都道府県の計330室を確保し、ネット上などで申し込みを受け付けている。2016年の熊本地震のときも、約300人の被災者に対し、空き室を短期的に無償提供した実績がある。今回は倒産または人員整理を客観的に証明する書類などが必要。今年3月26日に無償提供を発表する

と、1週間で延べ1000件の問い合わせがあったという。4月以降、雇用情勢はさらに厳しくなり、厚生労働省によると、新型コロナウイルスの影響で解雇・雇い止めされた労働者は5月18日現在で見込みを含め7989人。福岡県などに緊急事態宣言が発令された4月7日と比べ5倍近くに増えている。

不動産業「アンサー倶楽部」(北九州市)は自社で所有するアパート内の10室を提供することとし、うち1室は6月からの入居者が決まった。担当者は「地域貢献の一環。生活再建につなげてほしい」と語る。

賃貸業の全国組織「全国賃貸管理ビジネス協会」は、会員の賃貸仲介・管理会社に空き家物件の情報を呼びかけ、賛同した貸主から計300室余りの提供の申し出を受けたという。いずれも12月末まで提供する予定。一方、福岡県は住宅を退

「飲食店の夢諦めずに済んだ」入居の男性

APAMANが提供した福岡市博多区のマンションに入居する男性(35)は「家賃が必要ない分、失業手当を生活費に充てながら、求職活動ができる。とても助

かった」と語る。東京都出身。かつては正社員として飲食店やホテル

などで調理や接客をしてきた。2018年から長崎県佐世保市内のホテルで、派

遣従業員として調理など担当してきたが、今年3月中旬、コロナを理由に人



▲ 手際よく作る男性。食事作りも将来に役立てるため、近所のスーパーなどを数軒回り、質の良い食材を安く購入している(福岡市博多区で)

新型コロナウイルスの感染拡大で、演奏会の中止や延期を余儀なくされた九州の二つのプロ・オーケストラが、地元ゆかりの曲を演奏し、インターネットで動画を無料公開している。社会に疲弊感が広がり、自粛ムードも続く中、音楽の力で人々を元気づけようという試みだ。

自宅から



▲ 九州交響楽団(福岡市)は今年11日から動画投稿サ

ざゆけ若鷹軍団」を演奏する九楽団員(ユーチューブより)

去せざるを得なくなっ

らを対象に、県営住宅な

に半額の家賃で入居でき

制度を導入している。

労働問題に詳しい東北

社大の工藤健一准教授の

「今回の解雇や雇い止め

が把握している数は氷山

一角だろう。こうした中

の民間支援は素晴らしい

り組みだが、長期的に続

けることは難しい。補助

金など自治体による後方

支援も必要だ。住まいな

どの生

基盤を安定させた上で、

用を支援する一体的な取

組みも大切になる」